

**事業実施者**

月島機械(株)、サンエコサーマル(株)、日本下水道事業団、鹿沼市農業公社、鹿沼市 共同研究体

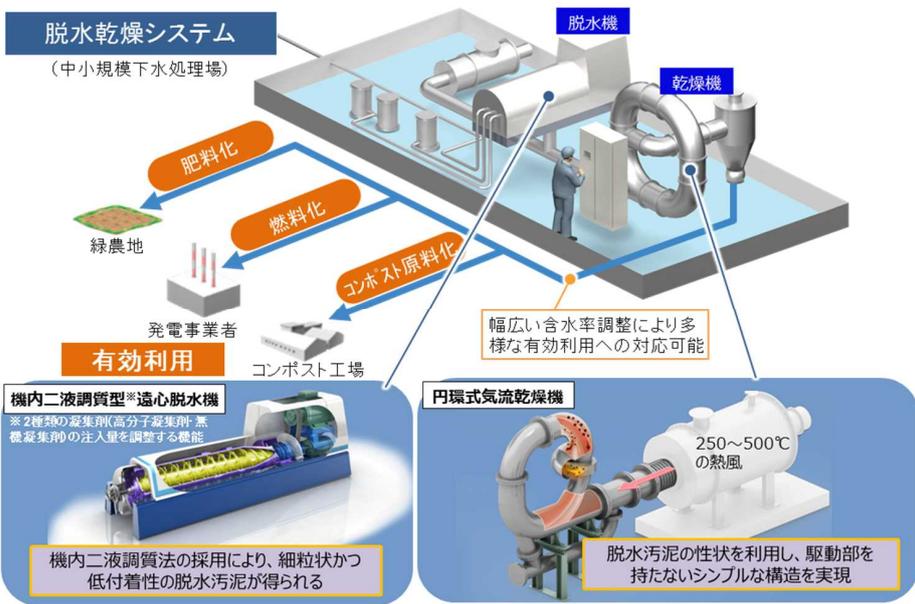
**実証フィールド、実証期間**

栃木県鹿沼市黒川終末処理場、平成28~29年度

**実証概要**

中小規模の下水処理場を対象とした脱水分乾燥システム(機内二液調質型遠心脱水機+円環式気流乾燥機)を用いて、乾燥汚泥を製造し、**肥料化、燃料化などの多様な有効利用への適応性**や、設備の性能、ライフサイクルコスト縮減等を実証する。

**技術の概要**



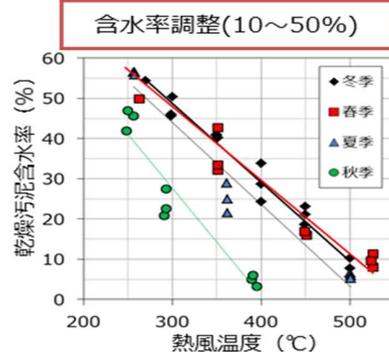
**技術の特徴**

**【新規性】**

- ・主要機器点数の低減(従来10点→提案4点)
- ・省スペース化(50%低減)
- ・自動制御によるスマートオペレーション化(人件費削減、運転管理の効率化)

**【独創性】**

- ・多様な有効利用に対応した含水率(10~50%)の乾燥汚泥が製造可能

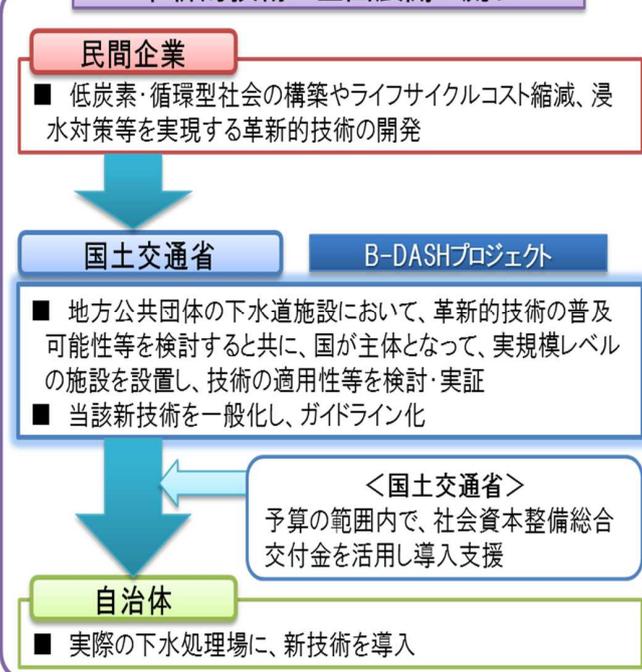


**【参考】下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)**

○下水道における重要な課題の解決のためには、効率的かつ効果的な新技術の導入を促進していくことが重要であるが、事業主体である地方公共団体においては、リスクを考慮し、導入実績のない新技術を採用することについて、慎重であり、新技術の導入が進みにくい。

○このため、国自らが主体となって、下水道における低炭素・循環型社会構築やライフサイクルコスト縮減等に資する革新的な技術を検討・実証し、ガイドライン化を図り、多くの地方公共団体における当該技術の導入促進を図ることを目的に、下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)を実施している。

**革新的技術の全国展開の流れ**



**超高効率固液分離技術を用いたエネルギー・マネジメントシステムに関する実証事業**

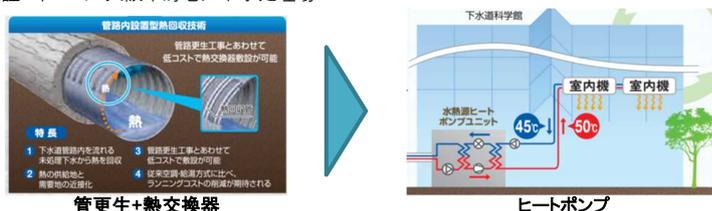
概要: 超高効率固液分離、高温消化、スマート発電システム等を組み合わせ、高効率に下水汚泥のエネルギー利用をするためのシステム技術  
実証フィールド: 大阪市中浜下水処理場



【導入実績】 秋田県、大船渡市、小松市 等へ導入

**管路内設置型熱回収技術を用いた下水熱利用に関する実証事業**

概要: 管更生と熱交換器設置を同時施工して、未処理下水から熱回収し、回収熱をヒートポンプを介して建造物の空調(暖房・冷房)や給湯に利用する技術  
実証フィールド: 大阪市海老江下水処理場



【導入実績】 仙台市、新潟市、大津市 等へ導入